

こまどりケーブルからローカルな話題や
エリア情報などをお届けします



■ 戦国時代に廃絶し所在不明に

天武天皇の白鳳時代からの歴史を誇る丹生川上神社。古くから水を司る祈雨・止雨の神社として信仰を集めてきました。雨を祈り黒毛の馬を、晴れを祈り白毛の馬を奉納。平安時代以降は京都の貴船神社とともに国の水神の祭礼を司ってきましたが、室町時代の応仁の乱以降は、丹生川上神社の名が歴史から姿を消し、所在が不明となってしまいました。



■ 吉野手すき和紙で作られた、三社巡りの御朱印紙は三社どこの神社でも購入可。もちろん手持ちの御朱印帳でも大丈夫です。

■ ほかに、丹生三霊守や水神力御霊守など三社巡りならではのお守りもあります！

水の神様 丹生川上神社 三社巡り

吉野の山里にある三つの丹生川上神社。川上村の上社、東吉野村の中社、下市町の下社。それぞれ独立した神社でありながら、同じ水の神様、同じ「丹生川上神社」です。吉野の自然に抱かれた三つの神社を廻る三社巡りが今静かな話題です。

丹生川上神社は、平安中期以降朝廷における最高の社格「二十二社」のひとつでした。明治維新以降も近代社格制度において官幣大社かんべいたいしやというもっとも格式の高い神社とされています。神社の格式制度は、第二次世界大戦後に廃止されましたが、「旧社格」などの名称で神社の格を表す目安とされています。

明治維新以降、その場所が研究され、1871年に現在の下市町の神社が、1896年には川上村の神社がそれであると定められ、それぞれ下社・上社となりました。しかし、その後の研究により、1922年、東吉野村の「蟻通神社ありどおし」こそが丹生川上神社だとされ「中社」と称し、三社を合わせて「官幣大社丹生川上神社」として社務所が置かれました。1952年、三社はそれぞれ独立し、別の神社となっています。

■ 上社・中社・下社は位置関係でも格付けでもない

三社巡りは廻る順番や決まりは特にありません。三社ともに見どころが多く、各周辺はそれぞれ豊かな自然が美しいエリアで、心安らぎ落ち着けます。ぜひ、余裕を持ってゆったりとお参りすることをお薦めします。

絵馬発祥の神社



絵馬のおこり

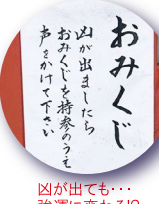
神様に新馬として生きた馬を献上する古代の風習が...

- ⇒ 次第に木や土で作った馬で代用され
- ⇒ さらに絵に描いた馬を奉納するようになり

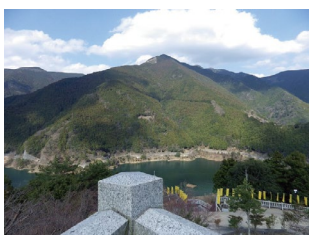
- 現在は絵馬の形や画も様々で、アニメキャラの痛絵馬なるものも

龍神にて水・雨を掌る・高麗大神 丹生川上神社 上社

奈良県吉野郡川上村大字迫869-1
電話 0746-52-0733
<http://web1.kcn.jp/niukawakamijinja-kamisha/>



旧境内地が大滝ダム建設に伴い、やむなく水没。現在の高台に平成10年3月に遷座(移転)しました。本殿は伊勢神宮旧社殿の古材を用いて造営。旧社殿は飛鳥坐神社(高市郡明日香村)に移築され、同神社の本殿などとなっています。



ダム湖に眠る元の境内地に向かって設置されている遥拝所からの眺め



まさに「天空の社」緑の山々と清々しい風が心地よい



しんうてんさい 神雨雲灑(拝殿掲額)

神の雨がうるほしそそぎ、恩恵を施すの意



平安時代の祭祀場跡が復元された状態で見ることができる

貴重



恋うらない

水一切を司る神・岡象女神 みつはのめのかみ

丹生川上神社 (中社)

奈良県吉野郡東吉野村大字小968

電話 0746-42-0032

<https://www.niukawakami-jinja.jp/>

癒しの気が漂う
森閑な境内

東吉野の深い森に囲まれ、すぐ前を流れる高見川のせせらぎと鳥のさえずりが響く、とても静かな場所にあります。新緑・ホタル・紅葉・雪景色と四季折々の美しい景色も魅力。清々しい空気に触れられる神社です。境内には天然記念物ツルマンリョウ自生地も。

すぐ近く



三つの川が合流するエメラルドグリーンの聖域「夢淵」
ゆめぶち



赤い太鼓橋の奥にある「東の滝」
ひんがしのたき



夫婦円満・延命長寿相性の杉



丹生のなでフクロウ



叶えの大杉(千年杉)

水を主宰される美しい女性の神様・閻魔神 くらかみのかみ

丹生川上神社 下社

奈良県吉野郡下市町大字長谷1-1

電話 0747-58-0823

<https://ja-jp.facebook.com/niukawakamishimosya/>

二頭の神馬が
出迎える

国道309号線の丹生バイパス開通により、丹生トンネルを抜けた直後に右折して戻らないと通り越してしまう旧道にあります。交通量の減少でより一層静かな場所となり、心洗われる気持ちのいい神社です。



ひとがた
人形流しの石



室町時代に途絶えてしまった神馬の献上ですが、平成23年に起こった東日本大震災と紀伊半島大水害からの復興を祈り、平成24年に約600年ぶりに白馬献上のお祭りが復興。現在は丹生川上神社三社で継承し、飼育は丹生川上神社下社が行っています。

白ちゃん&
黒ちゃんに
出逢えるのも
楽しみ!



けやき
御神木の樺



本殿へと続く日本最長木製75段の階(きざはし)は、昨年修復が完了。6月1日の例祭の日のみ一般参拝者もこの階を登り、ご本殿を間近に参拝が許される(本年は祭典のみ)

必見!

奈良ならではの

素敵なお朱印帳をみつけました

☆☆☆

矢羽根模様似た独自の柄が魅力の「杉証波製品」まさなみ。吉野杉で作られた川上村の特産品です。木を使ったお朱印帳の中でも珍しい杉証波のお朱印帳は、吉野かわかみ社中が運営を行う「木製雑貨販売サイト・キトスム」から購入できます。キトスムでは吉野の大自然で長年育てられた吉野材を、村内の木工職人が丁寧に加工した雑貨を扱っています。木工品は使えば使うほど味わい深い経年変化が楽しめるのも魅力。吉野杉や吉野桧の木のぬくもりが感じられる逸品は、暮らしに潤いを与えてくれるものばかりですよ。大切な人へのプレゼントや自分へのご褒美、人とは違ったこだわりのモノが見つかるかもしれません!



丹生川上神社上社でのみ、村内限定特別価格で販売しています。お参りともにお求めいただくとお得です!

『キトスム』 <https://kitosumu.com/>

「ひまちゃんのカガク」

